



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2021年5月27日朝刊

皆既月食は、太陽からわずかに届く光に照らされ、月が真っ暗ではなく赤黒い「赤銅色」になるのが特徴。青森県八戸市では、港の上に浮かぶ様子が見られた。各地でマスク姿の人たちが夜空を見上げたが、曇りや雨で観測できない地域も多かった。

「スーパームーン」で大きな赤銅色



青森県八戸市で見られた皆既月食。26日午後8時19分



雲の合間から姿を現した部分月食。26日午後9時30分、御前崎市

月が地球の影にすっぽりと入る皆既月食が26日夜、3年ぶりに日本で観測された。月が地球に近づいて大きく見える「スーパームーン」という状態と重なり、晴れた場所では午後8時9分から約20分間、珍しい天体ショーとなった。

3年ぶり皆既月食

既食前後の部分食の時間帯に、変色した月が姿を現した。静岡市駿河区の安倍川河川敷では午後6時50分ごろ、南東の空に赤銅色になった月が数分見え、雲に隠れた。両親と観賞した小学5年の男児(11)は「普段見ている月と色や姿が違って宇宙のすごさを感じた」と梅雨の合間の天体ショーを楽しんだ。部分食はほかに伊東市や御前崎市などでも確認できた。

次に日本で皆既月食が見られるのは2022年11月8日となる。前回は18年7月に観測された。日本でスーパームーンと重なったのは1997年9月以来。皆既月食は太陽、地球、月が一直線に並んで起きる。

県内では部分食

県内では部分食

ごろ、南東の空に赤銅色になった月が数分見え、雲に隠れた。両親と観賞した小学5年の男児(11)は「普段見ている月と色や姿が違って宇宙のすごさを感じた」と梅雨の合間の天体ショーを楽しんだ。部分食はほかに伊東市や御前崎市などでも確認できた。

次に日本で皆既月食が見られるのは2022年11月8日となる。前回は18年7月に観測された。日本でスーパームーンと重なったのは1997年9月以来。皆既月食は太陽、地球、月が一直線に並んで起きる。

①「皆既月食」とは、どんな現象ですか。

月が地球の影にすっぽりと入る現象

②「スーパームーン」とは、月のどんな状態を言いますか。

月が地球に近づいて大きく見える状態

③「皆既月食」では、月はどうな色になりますか。

(真っ暗ではなく)赤黒い「赤銅色」

④「皆既月食」を見た人はどんな感想をもったと思いますか。記事を参考に30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例) 普段見ている月と色や姿が違って宇宙はすごいと感じたろう。(29字)
天体ショーはとても楽しく、不思議な現象だと感じたろう。(28字) など

⑤次に日本で「皆既月食」が見られるのはいつですか。(2022年11月8日)

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年~中学校/理科、総合)